

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 15 日

事務事業名		健康づくり推進協議会運営事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	010201000316
						単独/補助	単独	所属課	040401 健康推進課
政策体系	総合計画の施策名		0102 健康づくりの推進						
	政策名		01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり				課長名		
	施策名		02 健康づくりの推進				グループ		健康づくりグループ
	手段名		01 ①健康づくりの推進				担当者名		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	04	01	01	02	00	保健衛生総務事業		
法令根拠						健康増進法、桜川市健康づくり推進協議会規則			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						単年度繰返し (昭和53年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>行政と市民・保健事業に関する関係団体が連携を図りながら、市民の健康に関する取り組みについて協議し、市民の健康保持・増進に寄与する。また、市の健康づくり事業の取組の基となる健康増進計画を策定する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> 委員の選定、委嘱 会議の設定、招集、運営 (年2回) (会議内容：前年度事業実績報告、事業計画報告、ざらり健康プランの進捗状況等) 会議資料作成 	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
各種事業の計画立案及び実施・委員の委嘱事務・会議の設定	健康づくり推進協議会委員の人数	人	17.00	17.00	17.00	17.00	17.00
	健康づくり推進協議会開催回数	回	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市民	桜川市の人口	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
「自分の健康は自分で守る」健康づくりの大切さを理解する。各種健診や各種事業等に参加し、健康の保持・増進に努められるようになる。	自分自身が健康で元気に暮らしていると思う人の割合	%	76.40	80.50	81.00	82.00	83.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投 入 量	事業費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	0	0	41	
		事業費計 (A)	千円	0	0	41	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
				07 報償費	39	
				10 需用費	2	
		合 計	0			合 計

事務事業名	健康づくり推進協議会運営事業	事務事業No.	10201000316	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和53年から、行政と市民その他関係団体が連携を図りながら、市民の保健に関する取り組みについて協議し、市民の健康の保持増進に寄与することを目的に協議会を設置し会議が開催されている。令和元年度、市民の健康づくりの指針となる「第2次桜川市きらり健康プラン」を策定した。生活習慣病予防や介護予防など市民の健康づくりに関する意識が高くなっている。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
乳幼児だけにかかわらず、高齢者のフレイル対策やがん検診向上等、健康寿命の延伸に係る事業を展開して欲しいとの要望がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 行政と市民その他関係団体が連携を図りながら、市民の保健に関する取り組みについて協議し、市民の健康の保持増進に寄与することを目的としており、総合計画の基本理念「子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり」と結び付いている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 有識者や各団体・各世代の代表者に意見を伺い連携を図ることは、市民の健康づくりを推進するためには必要であり、公共関与は妥当である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 行政と市民・関係団体が協働で市民の健康づくりの取り組みについて協議する場であるため協議会における成果向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 行政と市民・関係団体が協働で市民の健康づくりの取り組みについて協議する場であり、廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 具体的手段、事務事業名 事務事業としての類似事業はないものの、市民の健康づくりのための協議会であり、健康増進計画策定委員会と委員が重複している。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 関係行政機関、関係団体の代表で組織しており、事業費は会議費のみである。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 健康づくり推進協議会委員は市医師会長をはじめ、健康づくりに関する各種団体等市民の代表に委嘱しているので公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和元年度に策定した「第2次きらり健康プラン」の進捗状況を審議する機関ではあるが、令和2年度は計画実行の初年度であり、また元年度実績については策定時に評価している。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により開催を見送った。
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>